Ⅱ　教育課程

1　教育活動の全体計画

みなみのかぜ支援学校の教育目標

学　部　目　標

関係法令及び学習指導要領 ― 教　育　課　程 ― 児童生徒及び地域や本校の実態

生徒指導

進路指導

学習指導の重点の目標

○　社会生活に必要な身辺処理能力の向上を図るとともに、基本的生活習慣の定着を図る。
○　主体的に学習に取り組む態度を養い、自立的生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能を身に付ける。
○　積極的に集団や社会生活に参加し、健康で心豊かな生活を送る態度を養う。
○　勤労生産的・経済的な体験学習を重視し、将来の社会参加と自立に必要な知識・技能・態度を養う。

各　教　科	道　　徳	特 別 活 動	自 立 活 動	総合的な学習の時間
各教科の特性を生かし一人一人を大切にする学習指導を通じて日常生活に必要な知識・技能及び態度を養う。	人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を培い、自立し、健全な自尊感情をもち、主体的、自律的に生きるとともに、他者とかかわり、社会の一員としてその発展に貢献することができる力を育成する。	望ましい集団生活を通して、それに適応し、障がいを克服する生活態度を培うとともに、経験を広め、社会性を養い、好ましい人間関係を育てる。	個々の児童生徒が自立を目指し、障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に克服・改善するために必要な知識・技能・態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。	自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。 学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探求活動に主体的・創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

【指導の形態】

教科等を合わせた指導

日常生活の指導	生活単元学習	作業学習
生活の流れに沿っての繰り返し指導を通して、身辺処理能力の向上や基本的生活習慣を育成する。	具体的な生活経験を通して、社会生活に必要な知識・技能・態度を養う。	勤労生産的活動や経済生活活動を通して、働く意欲や習慣、たくましい生活力を養う。

教科別・領域別の指導

他の指導の形態を補完・深化・発展させるために必要な内容を計画的に組織し、自立的生活に必要な基礎的・基本的な内容に関する学力を高める。

総合的な学習の時間

自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。
学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探求活動に主体的・創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

指導の形態外

児童生徒が得た指導の形態の学習内容を、学校生活全般を通して補完・深化・充実・発展させるとともに、楽しく充実した学校生活を送ることができる態度を養う。

年　間　指　導　計　画